

Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2022 No. 2

2022年 8月 2日発行
愛知学童保育連絡協議会



TEL : 052-872-1972 FAX : 052-308-3324
Email : aichigakudou@gakudou.biz

全国学童保育指導員学校を終えて

2022年6月5日に、第47回全国学童保育指導員学校西日本岐阜会場が開催されました。全体で512名の参加、愛知からの参加目標200人を到達し、222名の参加がありました。



担当連協は岐阜県連協でしたが、愛知からも指導員学校PT、ICTチームで力を併せてオンライン開催の運営のお手伝いにも積極的に参加しました。参加者からの感想をいただきましたので紹介します。

指導員学校西日本岐阜会場に参加しました。おっかなびっくりだったオンライン開催も、最近では少しだけ気持ちの余裕を持って参加できるようになってきました。

午前中の全体会では、講師の春日井敏之先生から「コロナ時代と子どもの願いーあたりまえだけど大切なことー」と題したお話をうかがいました。

とてもわかりやすいお話で、自然とわが子の成長を思い出しながら聞いていました。大人の役割は、子ども自身の思いや心に寄り添い、他者と比較することなくそっと見守り、時には背中を押してあげられる応援団になることが大切と話されたことが、とても印象に残りました。

午後からは、講座7の「保護者に生活を伝え、考え合う」がテーマの、原田明美先生の分科会に参加しました。とある学童保育所内で実際にあった事例報告をもとに、子どもたちの関係性と、その様子を見た保護者の思い、その間をつなぐ指導員はどう対応し保護者に伝えればよかったのか？を、グループに分かれて考え合いました。

原田先生の、子育てはいい加減なくらいでちょうどいい

とのお話で、私は心が少し軽くなった気がします。また、保護者に子どものマイナス面だけを伝えるのは難しいけれど、良いことを8割くらい伝えて、良くないことは2割くらいにすれば伝えやすいのでは？と、指導員さんへのアドバイスがありました。保護者の立場でも、その方が受け止めやすいと思いました。

指導員学校というと、指導員さんだけの研修かな？と保護者の方は思うかもしれませんが、日々の学童保育生活を指導員さんがどのように考え、子どもたちと関わってくれているのかを保護者が知る機会になると思います。保護者にもぜひ参加してもらいたいと思いました。

名古屋市 保護者 OB

第三者評価学習会を終えて

県連協では、愛知県福祉サービス第三者評価推進センターの方々をお招きし、第三者評価事業の学習会を開催しました。

愛知県では、児童福祉法に基づく施設として、放課後児童クラブ（以下、学童保育）も福祉サービス第三者評価（以下、第三者評価）の対象となっています。

第三者評価では、サービスの質の向上のため、事業者の提供するサービスの質を当事者（事業者・利用者）以外の公正・中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価します。

その結果が、

- ①事業者が運営における問題を把握しサービスの質の向上に繋がること
 - ②利用者が適切なサービス選択できるような情報となること
- を目的としています。

学童保育の第三者評価に対する課題もありました。様々な運営主体の中には、事業者＝利用者である場合もあり、評価時には留意されなければなりません。また、学童保育は対象小学校区の施設を利用することから『選択』できない場合がほとんどです。

結果は「他施設と比較するものではない」「一喜一憂するものではない」とのことでしたが、本来の目的であるサービスの質の向上を目指すため、また第三者評価の導入を進めるために、さらなる学習も必要です。

第57回全国研申込み開始!

第57回全国学童保育研究集会(全国研)の受付が始まりました。日程は、10/29(土)、30(日)で、オンラインのみの開催となります。1日目の全体会の記念講演にはフォトジャーナリストの安田菜津紀さんをお招きすることになりました。2日目は分科会です。指導員さんはもちろんのこと、運営者の方、保護者の方のご参加もお待ちしております。学童保育について交流を楽しみましょう。分科会は39講座で、終日/午前のみ/午後をみの3パターンがあり、午前のみと午後のみを組み合わせることも可能です。申し込みはGoogleフォームですので、スマホでも簡単にお申込みいただけます。申し込み締め切りは9月30日となっておりますので、遅れないようお願いします。

全国研PTでは、愛知県目標315名(全国研最高!サ(3)イ(1)コ(5)ー)達成に向けて広報宣伝活動を行っています。全国研の参加経験のある方、いっしょに参加者を増やす活動をしませんか?全国研PTへの参加をお待ちしております。

※各種QRコードについて
書面でお読みの方はスマートフォンなどで、QRコードを読み取ってください。
pdf版をお読みの方は、QRコードをクリックしてご覧ください。



参加申込の締め切りは
(WEB・FAX 共通) **2022年9月30日(金)**

参加申込みは、できる限り上記のQRコード(参加申込みフォーム)よりお申し込みください。(FAXでのお申込みの場合は、リーフレットを印刷いただき、指定のFAX番号までお送りください。なお、FAXをされる際は、誤送信にご注意ください)

～研修に関するアンケートにご協力お願いします～

今後の研修の参考にさせていただきますので、ご協力お願いいたします。
※アンケートの集計は全国研ニュース・HPで報告いたします。



緊急時の対応・対策についてのアンケートにご協力ください

愛知県連協では名古屋市連協と、えがおプロジェクトを立ち上げ、東日本大震災学童保育支援を10年以上行なっています。被災してからの学童保育の果たしてきた役割、他機関や学童保育同士の連携などを見聞きしてきました。

様々な災害の備え不審者対策も含め、学童保育の安全対策はますます必要とされてきています。そこで、学童保育ではどのような備えをして、地域連携をはかっているか、など実態を把握するため「緊急時の対応・対策についてのアンケート」を実施することにしました。

アンケート結果はHP上で公開します。今後、被災地学童保育と交流などでできればと考えています。またアンケートを通して皆さんの振り返りや気づきになればと考えております。ぜひ、ご協力ください。アンケート調査の締め切りは**10月31日**です。

*昨年度末には学童保育の安全対策調査結果を踏まえ、総務省から厚労省に、全国市町村へ運営指針マニュアルの周知徹底と注意喚起をはかるよう通知が发出されています。



ほいく誌コラム

日本の学童ほいく
2022年5月号 P27～30
「保護者会・父母会の役割、
大切さをあらためて、たしかめ
あいましょう」



交流・情報交換・改善につなげる場として全国学童保育連絡協議会は、学童保育における保護者会の役割を5点にまとめてたしかめあってきたそうです。保護者会がなぜ必要なのかがわかりやすく書かれています。

わが家は長男3年生、次男1年生で長男が1年生の時から学童にお世話になっています。学童生活3年目にして、コロナ禍でなかなか行えなかったイベントが少しずつ出来るようになりました。しかしイベント等を経験している父母の方々が半分くらいしかおらず、先輩父母さんや指導員さんとの交流や情報交換、役割の必要性を感じております。協力できるところで力を合わせていく事を大切にして、参加していきたいなと思います。

SNS 情報発信のお知らせ (名古屋市 保護者)

愛知県連協では、県連協ホームページを随時更新し、それに合わせて下記のSNSで情報発信を行っています。LINEのオープンチャットをはじめました!

登録のパスワードは「gakuiku」です。

